

# 謹賀新年

平成29年元旦



矢巾町長  
高橋 昌造

「自立」と「変革」、「草の根型」をモットーに  
町民の皆さまと一体となつたまちづくりを

明けましておめでとございます。町民の皆さまにおかれましては、輝かしい新年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

昨年は「希望郷いわて国体」「希望郷いわて大会」が行われ、本町においてもラジオ体操、スポーツチャンバラで大いに盛り上がりました。また、本町から多くの選手が出場し、大いに活躍されました。カヌースプリント少年女子カヤックシングルで2つの金メダルを獲得した、不来方高校カヌー部の中前いつきさん、同じく銅メダル2つを獲得した菊池夏生さん、「希望郷いわて大会」では、陸上スラロームで金メダルを獲得した工藤綾乃さん、アーチェリーで金メダルを獲得した前端諭さん、同じ

くアーチェリーで銅メダルを獲得した武田さち恵さん、ボウリングで銅メダルを獲得した立花由香さんをはじめ、選手の皆さんが活躍される姿は、感動を与えてくれました。今後は、2020年の東京オリンピック、パラリンピックに向けたさらなる活躍を期待しております。

また、不来方高校音楽部の全国合唱コンクール全国大会での文部科学大臣賞と金賞のダブル受賞や同校3年の竹内菜緒さんの全日本学生音楽コンクール声楽部門高校の部第1位受賞、矢巾北中学校特設合唱部の活躍は、町民として誇り高いものであります。本町では昨年11月に「音楽のまちやばば」を宣言いたしました。音楽は人の心を癒し、人生にお

いてかけがえのない存在です。音楽に関する楽しいイベントの開催はもちろん、町内のあらゆるところで音楽が聴こえるようなまちづくりを推進してまいります。

町政におきましては、第7次矢巾町総合計画がスタートし、「希望と誇りと活力にあふれ躍動するまちやばば」を基本理念に、先人から受け継いだ自然や歴史、文化を守り育てながら、本町のさらなる発展を目指し町民の皆さまとともに取り組んでまいります。

本町の基幹産業である農業を守りつつ、平成31年9月の岩手医科大学附属病院の開院や平成30年3月の矢巾スマートインターチェンジ開通に伴う交流人口の増加や新たな企業の

誘致などを想定し、町道中央1号線をはじめとする各種インフラの整備を推進するとともに、徳田橋架け替えの早期着工や盛岡西バイパスの南方への延伸整備について、国や県へ強く要望してまいります。

また、徳田、煙山、不動の各地区の観光を含めた地域の活性化、ごみ減量化の促進を図ります。加えて、一昨年の町内中学生の自殺という痛ましい事案を踏まえ、子ども、高齢者、障がい者の方々のためのいじめ等の相談支援体制の確立、さらに地域包括ケアシステムを構築します。そして関係者の方々のご意見を伺い、75歳以上のインフルエンザ予防接種及び肺炎球菌予防接種の無料化、併せて中学生までの医療費無料

拡大を目指します。小中学校のトイレ洋式化を順次進めるよう、努力してまいります。

そのため、本町独自の政策を確実に進め、きめ細やかな行政サービスを実践して地域経済の活性化やコミュニティ活動の充実を図り、都市と自然が調和したまちづくりを展開



矢巾町議会議長  
廣田 光男

## 住民の意思を反映させ 開かれた議会を目指して

するとともに、防災や防犯、交通安全への取り組みを充実強化し、広域連携への取り組みにも十分な役割を担える自立した矢巾町を確立いたします。また、町民の皆さまから直接お声を伺い、職員と一丸となって創意工夫を凝らし、地方創生総合戦略を基本に、ウエルネスタウンの実現

などに向けて町民の皆さまと一体となつたまちづくりを行い、躍動する矢巾町を目指します。

私は、本年も引き続き「自立」と「変革」そして「草の根型」をモットーに、スピード感を持って町政を進めてまいります。

結びになりますが、本年も町民の

町民の皆さま、明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶びを申し上げます。日頃から町政と町議会に對しまして、深いご理解とご協力を賜っておりまして、衷心より厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、世界では、イギリスのEUからの脱退、アメリカやフランスなどで起こった無差別テロなど、連日のように不穏なニュースが入ってきて、心中穏やかではない状況にあります。また、アメリカにおける大統領選挙においては、大方の予想を覆してト

ランプ氏が勝利し、特にもTPP問題を抱える安倍政権としても大きな課題を抱えることになりました。

本町においては、地方創生事業が喫緊の課題であります。本町の基幹産業である農業の再生なくして、地方創生はありえないと思っております。今年、是非とも米価が上がって、豊作で明るい、飛躍する西年になることを切に祈っております。

さて、本町は、「希望と誇りと活力にあふれ躍動するまちやば」をまちづくりの基本理念として、第7次矢巾町総合計画が実践されております。その計画において、特に全国的に少子高齢社会が進む中、岩手

県で唯一将来人口が増加し、平成35年度の人口目標を3万人と定めたところであります。

総合計画は、議会の議決事項と条例に定められており、従来の行政が自ら定めたものでなく、行政と議会が一体となつて計画の推進を図ることにより、議会もその責任を負うものであります。

矢巾町議会は、開かれた議会を目指し、情報公開に一層心がけ、更なる議会改革に取り組んでまいります。また、議会本来の任務は、地域的に多様な住民の意思を反映させて、討論を通じて町全体の統一的意思を高め、政策を自らの責任におい

皆さまと手を組み、「オールやば」で町政運営に取り組んでまいりますので、より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。そして、新年が町民の皆さまにとつて「飛躍」の年となりますことを心からお祈り申し上げます。年頭のあいさついたします。

て、自主的に形成するという機能を発揮することであると強く肝に銘じておく必要があります。

議会は、執行機関とは一歩離れて行政監視に努めなければなりません。離れすぎてもその役割を果たせないことも事実であります。常に執行機関と一歩離れて二歩離れずの姿勢で、議会活動を展開していく所存であります。

結びに、町民の皆さまのご多幸とご健康をお祈り申し上げます。今年も相変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。新年のあいさついたします。